作成日：2022 年 1 月 27 日

京都医療センターで診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。
ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	遊離空腸移植術における移植空腸の阻血時間の検討
研究期間	2024 年 2 月 1 日　～　2024 年 8 月 31 日
対象患者	2009 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、当院受診し遊離空腸移植術を受けられ、かつ 1 年以上の追跡調査が可能な患者さん
調査対象期間	2009 年 1 月 1 日　～　2023 年 12 月 31 日
研究機関の名称	別添のとおり
実施診療科	形成外科
研究責任者	海透修子
意義・目的	下咽頭癌等に対する遊離空腸移植術は標準的術式となっているが、移植組織を採取してから血管吻合までの手順は施設により異なります。そのため移植空腸の阻血時間も左右されます。今回移植空腸の阻血時間に関する検討を行い、下咽頭癌等の遊離空腸移植術症例について治療、経過などを後ろ向きに調査し、診療方針について検討することを目的とします。
研究の方法（試料･情報の利用方法・他施設への提供方法を含む）	電子カルテおよび後利用システムを利用して、下記の「利用・提供する試料・情報の項目」に示す情報を抽出します。抽出データを基に、遊離空腸移植術を受けられた患者さんの性別、初診時年齢、発生部位、診断法、治療法、経過を検討します。
利用・提供する試料・情報の項目	性別、手術時年齢、手術内容、治療法、経過　等
試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供　あり・[なし] （ありの場合、海外の施設への提供　あり・なし）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。研究実施にあたっては匿名化を行うことで対象患者さんの秘密保護及び、研究対象者の個人情報が院外に漏れないよう十分配慮します。また、研究の結果を公表する際は、対象患者さんが特定できる情報を含まないようします。
結果の公表	投稿論文として公表予定
備考	

******* お問い合わせ先 *******
京都医療センター
形成外科　海透修子
電話：075 - 641 - 9161
****

別添

研究組織

【研究代表者】
京都医療センター　形成外科　海透修子

【研究参加施設と研究責任者】
滋賀医科大学　形成外科　荒田順